

潜在看護職の復職支援に関する実態調査 に参加された方へ

東京大学医学部附属病院（連絡窓口：東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野）では、以下の研究を実施しています。

【研究課題】

潜在看護職の復職支援に関する実態調査（審査番号 2022205NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関 東京大学医学部附属病院看護部
研究責任者 看護部長 武村 雪絵

【研究期間】

承認日～2027年3月31日

【対象となる方】

2023年1月17日～2023年2月4日の間に、「潜在看護職の復職支援に関するアンケート（看護職用）」に回答した方。

【研究の目的】

この研究では、潜在看護職に対する効果的な復職支援プログラムのあり方を検討するために、復職支援に関する看護職のニーズを把握することを目的としています。

【研究の方法】

アンケート調査によって収集済みの匿名化されたデータを用いて行う研究です。質問内容には、年齢、性別、居住地、就業歴、離職期間、これまでに受けた復職支援の内容、復職支援でよかった点、不満だった点、復職や復職支援についての意見・要望等が含まれていました。

特に研究参加者に新たにご負担いただくことはありません。

【結果の報告】

アンケート調査の実施にあたり、研究協力の承諾を得られた都道府県ナースセンターを介して研究参加者を募集しました。当初、協力いただいた都道府県ナースセンターには全体の研究結果のみを報告するとしていました。しかし、ナースセンターから要請があり、各都道府県での復職支援に役立てていただくために、回答者の申告した居住地（都道府県名）をもとに集計した当該都道府県の結果についても報告することとしました。

【個人情報の保護】

この研究に関わって取得されるデータは、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

アンケートでは、謝礼とインタビュー調査のご案内を送付するため、許可を得た上でメールアドレスを取得しましたが、回答はメールアドレスと切り離して集計し、メールアドレスのデータファイルは謝礼の受け取りを確認した約2週間後に削除したため、個人が特定されることはありません。回答データはパスワードロックをかけて外付けハードディスクに保存し、東京大学大学院看護管理学分野内の施錠できる個室の鍵付きキャビネット内で厳重に管理しています。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合であっても、個人が特定できないため、同意を取り消すこと、研究への参加を取りやめることはできません。なお、研究の成果は、個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。

取得したデータは厳重な管理のもと、研究結果公表後10年間保存されます。保管期間終了後は、シュレッダー処理、または、データ消去することで廃棄します。

なお、提供いただいた試料・情報の管理の責任者は下記の通りです。

所属：東京大学医学部附属病院看護部

氏名：武村 雪絵

【その他】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

この研究に関する費用は、令和4年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）「潜在看護職の復職に係る実態把握及び効果的な支援方策の検討のための研究」、及び東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻看護管理学分野の運営費から支出されています。

本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科 看護管理学分野

連絡担当者：高橋好江（特任研究員）

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

Tel：03-5841-3524

E-mail：kangkanri-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

当研究室へのお問い合わせ：<http://nurs-adm.umin.jp/contact/>